

20年のあゆみ

私共、市川市少年野球連盟の発足は市川市教育委員会・相談員連絡協議会・PTA連絡協議会・子供会育成会並びに野球協会が発起人となり、故 浮谷貞雄氏を中心として昭和55年2月18日の設立総会を経て、誕生いたしました。

『青少年健全育成』をスローガンとし、多くの皆様方のご支援・ご協力のもとに、今日20周年を迎えることが出来ました。

各地区代表で競う **春季選抜大会**・全チーム参加の **夏季大会** を主催しておりますがここで、様々な角度からその20年間を振り返ってみたいと思います。

各種大会にてのチームの活躍

記念すべき第1回大会は昭和55年5月11日開会の全13地区の代表チームによる **地区対抗大会** で幕を開けました。

その年の6月19日には **第1回夏季大会** が、小学生チーム99・中学生チーム13の参加で開催されました。

中学生チームは、部活動や進路問題等で地域でのチーム維持が難しく昭和63年の夏季大会を最後に、休部状態にあります。

昭和60年代には、最大125チームが加盟しておりましたが、その後の少子化傾向で現在は高学年61チーム・低学年28チームとなっております。

設立当初は《大町若葉》・《平川》チームなど市内北部地域の活躍が顕著で各大会の上位を占めておりました。

その後、南部地域のチームも徐々に台頭し、昭和63年の第9回 **春季大会**・**夏季大会** で《原木》が連覇優勝し、その後も合計9回優勝に輝きました。

野球底辺の拡大から市川市も平成10年夏季大会から **低学年大会** を新設致しました。

低学年用の競技規則・競技場規格を設け、高学年にも負けぬスリリングなゲーム運びで多くの父兄が訪れる応援席は熱気に溢れ、大好評です。

対外試合での活躍

特筆すべきは、平成6年全日本学童千葉県大会に出場した《原木》が見事に優勝し、千葉県代表チームとして全国大会出場を果たしました。

翌、平成7年にも《原木》は全日本学童千葉県大会で第3位・千葉県少年野球大会(千葉日報杯)で優勝を飾りました。

平成10年には《みかどファイターズ》が千葉県少年野球大会(千葉日報杯)第3位。平成11年同大会では《北方中央》が準優勝を飾っています。

近隣市との東葛大会や5市1町大会・浦安親善大会では、市川代表チームや選抜チームが常に優勝や上位に輝いております。

海外遠征試合の実施

国際交流課の支援を受けて、姉妹都市であるアメリカガーディナ市への派遣遠征は、昭和57年・平成2年・9年の計3回実施して、国際親善に一役支うと共に子供達の良い思い出作りになったと思います。

市制60年の平成6年には、ガーディナ市から少年野球チームが親善訪日、箱根観光や市川選抜チームとの親善試合で友好の輪を広げました。

その他の事業

事業運営を円滑に行う機関として、市内13地区を構成し各地区支部代表の支部長そして地区理事の会議を開催してチーム・地区の意見を反映した運営を行っております。

大会運営においては、開閉会式を総務部が、試合運営は審判部が行います。

審判部(約30名)を対象とした講習会及び、チーム登録審判員(約150名)の講習会を毎年、各々1回開催して審判技術の向上・研鑽に努めております。

省りみますれば20年前に当連盟の結成に尽力され、その礎を築き平成8年まで会長として自ら先頭で指揮された故・浮谷貞雄氏の努力により今日の姿があると想います。

創設当時から、球場探しに東奔西走し、教育委員会の努力で現在8個所の少年広場が有りますが、専用球場の無いのが現状です。

先代会長からの夢でもある、少年専用球場の設置を実現させたい思いです。

最後になりましたが、20周年記念事業にあたり、数多くの皆様・各団体にご協力賜りましたことを、この場を借りて厚く御礼申し上げます。